

多機能型事業所「うきわく」 児童発達支援・放課後等デイサービス 自己評価 集約公開表

アンケート対象職員数合計 6/6名

公表日: 2024 年 3 月 1 日

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 未回答 | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|---|--|----|---------------|-----|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である | 4 | 2 | | | スペースは適切とは感じないが、死角がないため利用児全体の動きが把握できる。 部屋の移動はあるので、静と動の空間を意識して使いたい。 |
| | ② | 職員の配置は適切である | 2 | 4 | | | 昼食前後など手薄な時間帯は特に安全に気を付けている。 職員不足の為、求人を出している。 利用者個々の特性により増員したい時もある。 |
| | ③ | 衛生面の管理が行き届いている | 4 | 2 | | | 消毒、換気など細やかにしている。 掃除は毎日行っているが、細かな所は出来ていない。衛生面として、掃除に重きをおける様改善したい。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している | 1 | 4 | 1 | | 広く職員は参画できていない。誰でも関わり、意見が出せる環境設定が必要。 個別支援計画や課題について共有して取り組んでいるが改善点等を話し合う機会が少ない。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている | 4 | | 2 | | アンケート結果や日々のノートなど細やかに目を通してしている。 |
| | ⑥ | 自己評価の結果を公開している | 4 | | 2 | | ホームページにて公開している。 |
| | ⑦ | 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している | 6 | | | | 外部の講師を招いた研修を月1回行っている。 研修に参加したり、話し合いの中で日々、学びを感じている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑧ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている | 5 | | 1 | | 半年に1回モニタリングを実施し、ニーズに合わせた個別支援計画を作成している。 職員で話し合い、支援計画を丁寧に立てている。 |
| | ⑨ | 活動の計画をチームで行っている | 5 | | 1 | | 複数の職員で案を出し合い、活動のマンネリ化が起こらない様にしている。 計画を皆で話し合う時間をとっている。 月1回ミーティングにて翌月の活動を計画。 |
| | ⑩ | 活動の計画が固定化しないよう工夫している | 4 | 1 | 1 | | 子どもたちのプラスになるような新しい活動探しをして取り入れている。 年齢に合った活動ができる様、部屋を分けて活動したり内容を変えて1つの事を行ったりしている。 |
| | ⑪ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している | 1 | 2 | 2 | 1 | 細やかな設定(特に長期休暇) |
| | ⑫ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している | 4 | 1 | 1 | | 同じ活動でも、発達に応じて取り組み方を変えている。 年齢に応じて分けての活動をしたりその子に合わせたワークを心がけている。 |
| | ⑬ | 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 3 | 2 | 1 | | 児童発達、放デイと掛け持ちをしている職員がいる為、なかなか落ち着いて打合せが出来ていない為改善が必要。 出来ているときと出来ていないときがあるので少しの時間でも打合せを行ってきたい。送迎の時間も以前より短い朝必ず打合せをしている。 |
| | ⑭ | 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている | 1 | 4 | 1 | | 記録を取れていない時もあるが取るようにしている。 準備や環境整備に追われて充分出来ない事もあるが、記録を取るよう気を付けている。 |
| | ⑮ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している | 4 | 1 | 1 | | モニタリングの下準備など話し合い、行っている。 |
| | ⑯ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | | 3 | 3 | | |

| | | | | | | | |
|---------------|---|---|---|---|---|---|--|
| 関係機関、保護者様との連携 | ⑰ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 1 | 3 | 1 | 1 | 急な下校時間変更に対応出来ない時がある為、保護者や学校との連携を改善する必要がある。 放デイの送迎時、下校時刻などが違い、送迎時間を間違えることがあるため、確認する。 |
| | ⑱ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている | 1 | 1 | 2 | 2 | |
| | ⑲ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している | | 2 | 2 | 2 | まだ提供した前例がない。 |
| | ⑳ | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 3 | 2 | | 連携はあるが、研修は受けていない。研修を受けたい気持ちはある。 保護者から専門機関での報告があった時は目を通し支援につなげている。 |
| | ㉑ | 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている | 3 | 2 | 1 | | 連絡帳や送迎時に連携できるよう心掛けている。 保護者様と会う機会が減り連絡帳でのやり取りが主となり共通理解は難しくなっていると感じる。 |
| 保護者様への説明責任等 | ㉒ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている | 1 | 4 | 1 | | |
| | ㉓ | 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている | 3 | 1 | 2 | | 送迎時やノートで相談があれば丁寧に回答している。 必要な助言を行ったり、答えられない時はそのまませず、上司や同僚に答えを求める。 |
| | ㉔ | 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している | | | 5 | 1 | 実際は出来ていないが、今後そういった場を設けたい思いはある。 |
| | ㉕ | 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | 2 | | |
| | ㉖ | 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している | 2 | 3 | 1 | | LINEやinstagramが活用されている。 月の活動内容は保護者に提示し見通しを持って活動に参加出来るようにしている。 |
| | ㉗ | 個人情報保護に十分注意している | 6 | | | | |
| | ㉘ | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | 1 | | 子どもに対してはどうすれば響くか保護者とは日々の少しの時間を大切にしている。 細かな表情や仕草の変化に意識している。 |
| | ㉙ | 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている | 1 | 2 | 3 | | 地域の行事にはほとんど参加出来ていない。情報の収集から始めていきたい。 近隣の方への挨拶は心掛けている。 |
| 非常時などの対応 | ⑳ | 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している | 3 | 1 | 2 | | 周知はしているが、いざ起こった時、すぐに対応出来るか不安な為、定期的にマニュアルをチェックする必要がある。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている | 4 | 1 | 1 | | |
| | ㉒ | 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 2 | 3 | 1 | | 研修ではないが、セルフチェックを行っている。 研修会に参加して、知識を身に付けたい。 |
| | ㉓ | いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している | 1 | 3 | 2 | | 現在、利用児に身体拘束を必要とする児はいない。 |
| | ㉔ | 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている | 2 | 2 | 1 | 1 | 実際には与薬表を作成した後は与薬がなかった。 実際に投与をしたことはないが、必要時はチェックしていく。 |
| | ㉕ | ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している | 5 | | 1 | | ヒヤリハットの連絡がくると必ずチェックして自分事として捉え気を付けている。 |